

宮崎県文化財調査報告書

第 43 集

平成11年3月

宮崎県教育委員会

序

文化財の保護・活用につきましては、日ごろより深い御理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

宮崎県教育委員会においては、文化財の保護及び文化財指定のための調査や、土木等の諸開発事業に伴う遺跡の緊急発掘調査の報告を行し、文化財に対する理解をいただいているところであります。

この度は、平成10年度に県指定となりました文化財、及び平成10年度に行った事業調整等について集録しております。

本書が、社会教育・学校教育の場において広く活用され、あわせて学術研究場の資料として役立つことを期待いたします。

なお、調査に際してご協力いただいた市町村教育委員会並びに地元の方々に対し深甚の謝意を表します。

平成11年3月

宮崎県教育委員会
教育長 笹山 竹義

例　　言

- 1 本書は平成10年2月から平成11年1月の間に指定された文化財を掲載している。
- 2 本書は平成10年4月から平成11年1月までの間に行われた試掘調査、埋蔵文化財の事業調査、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターで行われた発掘技術者研修、文化庁担当職員講習会、埋蔵文化財保護行政担当者会を一覧表として掲載している。
- 3 本書の執筆は第1章が那賀教史、第2章第1節が北郷泰道が行った。第2章第2節～第6節までは重山郁子が取りまとめた。
- 4 本書の編集は重山が行った。

本 文 目 次

第1章 文化財係事業	1
第1節 平成10年度文化財係事業	1
第2節 平成9・10年度県指定文化財	3
第2章 埋蔵文化財係事業	7
第1節 埋蔵文化財保護行政の変遷と平成10年度事業	7
第2節 埋蔵文化財の試掘調査一覧	9
第3節 埋蔵文化財の事業調整一覧	11
第4節 奈良国立文化財研究所研修参加一覧	17
第5節 文化庁担当者職員等講習会参加一覧	17
第6節 埋蔵文化財保護行政担当者会一覧	18

第1章 文化財係事業

第1節 平成10年度

文化財係の事業は、保護顕彰と保護対策に分かれる。

まず、文化財保護顕彰について、主な事業の取り組みを述べる。

平成10年1月25日、椎葉村十根川が重要伝統的建造物群保存地区に選定された。九州で初の山村集落であり、本県における選定地区は、これで3件となった。平成10年10月22日、北郷町の山坂屋隧道を184件目の県指定文化財に指定した。このほか、国の登録文化財に、えびの市「めがね橋」、日本南市「杉村金物本店主屋」など6件が登録された。

本年度の新規事業として、古墳指定総点検事業と鉄砲刀剣データベース化事業を実施した。前者は、国・県指定の古墳について、指定時と現在との関係を資料により照合し、現時点における古墳の位置、範囲、面積等の確定を行うことを目的とするもので、6か年計画の初年度をスタートした。全市町村に基礎調査を提案し、市町村の実態に基づき提出された資料をもとに、現地調査を実施した。後者は、本県に登録されている銃砲刀剣類のデータをパソコン入力し、情報に対する多様な要請に対応できるようにした。

指定文化財の実態を把握し適切な対応を進めるために、市町村及び文化財保護指導委員との連携を密にし、現地調査を行った。本年度は、台風の際の連絡体制利用、防火防犯への通知等により、保護管理を進めた。また、指定文化財の維持管理や環境整備に対する補助を行った。

天然記念物に関しては、夏にヤマネ、オオサンショウウオが発見されたが、自然に返し保護した。また、本県海岸に上陸するアカウミガメ保護のために、指定地域6市町と未指定7市町の教育委員会担当者及び保護活動関係者の研修会を実施した。

文化財愛護少年団は、現在89団体を数える。地域の指導者、教育委員会、学校等において熱心な指導がなされ、児童生徒の活発な活動が見られる。県では、指導者の研修会を実施し、講演会や指導者による分科会等により、課題や今後の方向について意見交換した。

民俗文化財の保護・活用については、伝統芸能後継者育成事業により、都城市「高木の揚げ馬」山之口町「山之口弥五郎どん祭り」西米良村「村所八幡神楽」の3団体に助成した。なお、本事業は10年度で廃止し、11年度から新たな事業としてスタートする。九州地区民俗芸能大会が、沖縄県宮古島で開催され、本県からは、延岡市椎葉崎ばんぱ踊り保存会が出演し「団七踊り」を披露した。

次に、文化財保護対策について述べる。国・県指定文化財の保護を進めるために、県文化財保護指導委員15名に定期的な巡視を依頼し、現地確認による報告をもとに市町村教育委員会と連携し速やかな処理に努めた。また、県及び市町村の実施する文化財保存整備事業に対し、国庫補助事業により記念物保存修理や記録作成等を進めた。

九州山地に生息するカモシカ保護については、関係17市町村において通常調査を実施した。また、現

地調査員の情報をもとに、保護委員、調査員による現地調査を実施した。また、カモシカ保護地域設定の同意を得るための作業を進めた。



椎葉村十根川重要伝統的建造物群保存地区

第2節 平成9・10年度県指定文化財

I 平成9年度

1. 神門神社本殿

- (1) 種 別 有形文化財
- (2) 所 在 地 東白杵郡南郷村大字神門68番地
- (3) 所 有 者 神門神社
- (4) 指定年月日 平成10年3月26日
- (5) 指 定 理 由

神門神社本殿は、寛文元（1661）年建立の七間社流れ造りで、内陣の間取りや構造など平面構成に特色がある。

建立に関する棟札から建築年代や工匠名その他関係者が明確であること、また、柱間寸法の取り方や屋根板葺等に古代、中世の技法を残し、建築技術史の発達過程をみる上で貴重である。

（6）指 定 基 準

建造物の部

エ 学術的価値の高いもの



2. 木崎原古戦場跡

(1) 種 別 史 跡

(2) 所 在 地 えびの市大字池島字西郷田、字二月田、大字今西字太刀洗川、大字上江字鳥越

(3) 所 有 者 えびの市、木崎原キミ、吉田政満

(4) 指定年月日 平成10年3月26日

(5) 指 定 理 由

木崎原古戦場は、元亀3（1572）年、島津義弘と伊藤義祐との激戦の場であり、そこでの戦いは、それ以降の相良氏を含めた南九州の勢力関係に大きな転機をもたらした。

合戦は、鹿児島県、宮崎県、熊本県に残る史料から史実として検証され、六地蔵幢、首塚、太刀洗川、三角田等の場所も確定できる。

本古戦場は、本県の歴史及び九州の戦国時代史を語るうえで重要な史跡である。

(6) 指 定 基 準

史 跡

イ 都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡



3. 鈴鏡塚古墳

- (1) 種 別 史 跡
- (2) 所 在 地 日向市大字富高字草場 6800番地40
- (3) 所 有 者 黒木敏雄
- (4) 指定年月日 平成10年3月26日
- (5) 指 定 理 由

鈴鏡塚古墳は、富高古墳群に属する直径20mの円墳で、草場古墳とも呼ばれる。当古墳は、昭和28年の発掘調査で出土した県内唯一の八鈴鏡や勾玉、切子玉、管玉、直刀、鉄鎌などから、6世紀前半に比定され、当地域の首長墓であると想定される。

本古墳は、形状がよく保護され、宮崎県内の古墳時代を考える上で重要な史跡である。

(6) 指 定 基 準

史 跡

ア 目塚、集落跡、古墳、その他この類の遺跡



II 平成 10 年度

1. 山仮屋隧道

- (1) 種 別 有形文化財
- (2) 所 在 地 南那珂郡北郷町大字北河内
- (3) 所 有 者 北郷町
- (4) 指定年月日 平成 10 年 10 月 22 日
- (5) 指 定 理 由

本隧道は、町村制施行による重要県道設置のために計画されたもので、県内で初めての隧道として明治 24 年着工、25 年に竣工している。近代的隧道トンネルとしては全国的にも初期のもので、煉瓦による覆工は大変珍しいものとされる。現在は道路としての共用はなされていないが、保存の状態もよく、近代土木技術史上極めて貴重なものである。

(6) 指 定 基 準

建造物の部

- (イ) 技術的に優秀なもの
- (ウ) 歴史的価値の高いもの



第2章 埋蔵文化財係事業

第1節 埋蔵文化財保護行政の変遷と平成10年度事業

埋蔵文化財係では、調整・指導班と整備・調査班として事務を分掌している。

調整・指導班は、開発事業のチェックから試掘調査、事業主体との調整、発掘調査等の契約事務などを実行している。整備・調査班は、特別史跡西都原古墳群保存整備事業を中心として、国御跡の確認調査、中近世城館跡の悉皆分布調査などを行っている。

1 調整・指導班

平成7年度からの大型の発掘調査事業であった西都～清武間の東九州自動車道関係は、現地での調査を2遺跡残すだけとなり、業務の主体は整理作業と報告書作成に移行した。しかし、一方では平成9年末に都農～西都間、次いで平成10年末には門川～都農間、清武～北郷間にについて施行命令が出され、この事業区についての対応が平成11年度からの新たな課題となっている。

加えて、農用地整備公団による都城地区のは場整備、広域農道整備は、引き続き大きな事業となっている。

東九州自動車道については、順調に調整及び発掘調査が進行しているが、農用地整備公団事業については、地元同意や設計の遅れなどにより発掘調査の着手時期が遅れるなど、事業主体である公団と調査主体である埋蔵文化財センターとの調整に苦慮することが多かった。

こうした、契約事務を伴う受託事業の他、県の土木・農政部局からの分任による発掘調査事業について、開発事業のチェックに始まる調整のフローは、定型化した業務として開発関係部局にも周知が図られてきたが、なお幾つかの点で改善すべき事項もあり、より迅速かつ円滑な調整が求められている。

そうした課題の一つとして調整・指導班では、昨年度から民間発掘調査機関の活用について埋蔵文化財センター、市町村を含めて協議を重ねてきた。これは、従来から測量・実測業務や地中探査業務など関係業務のいわゆるサポート業務については民間の積極的な活用を図ってきたが、発掘調査そのものの委託についての基本的な方向性をまず構築する作業として位置付けられるものである。

2 整備・調査班

西都原古墳群の保存整備事業は、4カ年目を迎える本年度から事業規模も単年度2億円から文化庁「歴史ロマン再生事業」の特別規模枠3億6千万円の事業へ拡大し、一層の事業の推進を図ることとなった。

本年度は、169・170号墳といった西都原古墳群の盟主墳であり、宮内庁の陵墓参考地である男狭穂塚・女狭穂塚と密接な関係を有する古墳の発掘調査を行った。共に、大正時代の発掘調査により重

要文化財の子持家形埴輪や舟形埴輪などに代表される器財埴輪の出土が知られていたが、古墳の全体像は明らかにされていなかっただけにその発掘調査の成果によって新たな知見が広がってきた。

発掘調査の成果を広く公開するため、8月8日に現地見学説明会を実施している。

また、整備事業については、第1古墳群の遊歩道整備、新たに公有化した地区的芝張り整備など環境整備を実施し、保護を図りながら活用の便を図る整備を行った。さらに、酒元ノ上横穴墓群について覆屋をかけて遺構の保存と活用を図ることとし、平成11年度までの2カ年事業で施設建設に着手したところである。新たな見学スポットとして注目されるものになるであろう。

一方、中近世城館跡の悉皆分布調査は最終年度を迎えることになり、昨年度の分布地図と城館一覧の報告書に引き続き、縄張り図、城館概説による最終報告書を作成した。さらに、悉皆調査の成果をもとに史跡指定による保護対策を講じるため、30～40城跡について選定し、国指定・県指定・市町村指定候補の絞り込みの作業を進めているところである。

最後に、国衛跡の保存整備基礎調査では、確認調査を開始して以来耕作地や空き地を選定しての小規模な発掘調査を行ってきたが、初めて茶畑の移植を行い比較的まとまった広い面積の発掘調査を実施することが出来た。その成果の評価はさらに詳細な検討が必要であるが、平成11年度への継続的な調査により、国衛の保存区域の確定への一步前進したと考えている。



第2節 埋蔵文化財の試掘調査一覧

開始 月 日	終了 月 日	事業名	試掘場所	内 容
5 20	5 22	南郷村温泉駐車場建設	南郷村神門	遺物有り（縄文土器）
5 20	— —	希望ヶ丘西土地区画整理事業	宮崎市本郷北方	遺物有り（古代）
6 3	6 5	広城農道西白杵3期	高千穂町	遺物有り（縄文土器・石器）
6 15	— —	県道木城西都線道路改良事業	西都市大字新開	遺構・遺物なし
6 16	— —	県道木城西都線道路改良事業	西都市大字下三財	遺構有り（集石、縄文時代早期）
6 18	6 19	広城農道西白杵3期	高千穂町	遺物有り（縄文土器・石器）
6 24	6 25	県道	串間市	遺構・遺物なし
6 30	8 31	県営ほ場整備事業「船引地区」	清武町大字船引	遺構・遺物有り（集石、縄文土器）
7 16	— —	下村川河川改修事業	佐土原町大字那珂	遺構・遺物なし
7 16	7 21	農用地総合整備事業	都城市梅北町	遺物有り（縄文土器）
8 3	— —	国道10号安付加車線事業	川南町番野地	遺構・遺物なし
8 3	— —	新埋蔵文化財センター建設	佐土原町下那珂	遺物有り（須恵器）
9 3	9 11	国道269号道路改良事業	都城市今町	遺構・遺物なし
9 5	— —	北川河川改修事業	北方町大字俵野	遺構・遺物なし
9 8	— —	新埋蔵文化財センター建設	佐土原町下那珂	遺構・遺物なし
9 17	9 18	県道北方土々呂線改良事業	北方町	遺構・遺物なし
9 22	9 28	宮崎地方裁判所都城支部新築	都城市八幡町	遺物有り（瓦・陶磁器）
10 6	10 8	木材加工研究センター建設	都城市花嶺町	遺物有り（土師器）
10 13	— —	県営農地保全事業	都城市下水流町	遺構・遺物なし
10 14	— —	県道木城西都線道路改良事業	西都市大字新開	遺構・遺物なし
10 29	— —	農用地総合整備事業	都城市梅北町	遺構・遺物なし
10 29	— —	西都簡易裁判所庁舎新築	西都市右松	遺構・遺物有り（柱穴、須恵器）
10 30	— —	県営農地保全事業	高城町平八重	遺構・遺物なし
11 4	11 17	県営ほ場整備事業「横市地区」	都城市横市町	遺物有り（土師器）

開始 月 日	終了 月 日	事業名	試掘場所	内 容
11 10	— —	県営一般農道整備事業	西都市下三財	遺構・遺物有り（周溝、土師器）
11 11	— —	県道福王子佐土原線改良事業	西都市都於郡	遺構・遺物なし
11 19	12 11	農用地総合整備事業	都城市蓑原町	遺物有り（縄文・弥生土器）
11 24	11 26	広域農道西白杵2期		遺構・遺物なし
12 15	12 17	総合農業試験場整備事業	佐土原町下那珂	遺構・遺物有り（水田、土師器）
12 24	1 6	県営ほ場整備事業 「長江浦・東川北地区」	えびの市長江浦	遺物有り（縄文土器）
1 11	2 5	農用地総合整備事業	都城市蓑原町	遺物有り（弥生土器）
1 20	1 22	西白杵農業改良普及センター	高千穂町	遺物有り（縄文土器）
1 26	1 28	広域農道霧島北部2期	えびの市西長江浦	遺物有り
1 26	1 28	総合農業試験場整備事業	佐土原町下那珂	遺構・遺物有り（溝、弥生～古墳）
1 29	— —	県道古墳山路線道路改良	西都市西都原	遺構・遺物なし

第3節 埋蔵文化財の事業調整一覧

(県北)

月	日	事業名	事業地	調整先	内 容
4	15	一般国道10号延岡道路建設	延岡市	建設省延岡工事事務所	林遺跡発掘調査について
7	21	南郷村温泉駐車場建設	南郷村	南郷村教育委員会	発掘調査状況について
7	23	携帯電話用鉄塔建設	高千穂町	高千穂町教育委員会 (株) NTTドコモ	高千穂町亀頭山城内への鉄塔建設について
7	29	北川河川改修事業	北川町	延岡土木事務所	試掘調査について
8	5	県営ほ場整備事業 「俵野地区」	北川町	東臼杵農林振興局	埋蔵文化財保蔵地部分の整備の仕方について
8	5	中山間地域農村活性化総合整備事業「西門川地区」	門川町	東臼杵農林振興局	発掘調査時期について
8	24	県道北方土々呂線改良事業	北方町	延岡土木事務所	試掘調査について
9	11	中山間地域総合整備事業 「西門川地区」	門川町	門川町教育委員会 東臼杵農林振興局	事業確認と発掘調査時期について
9	16	中山間地域総合整備事業 「西門川地区」	門川町	門川町教育委員会	発掘調査時期について
9	16	県道北方土々呂線改良事業	北方町	延岡土木事務所	試掘調査について
9	24	県営ほ場整備事業 「上村地区」	東郷町	東郷町教育委員会	発掘調査時期と範囲について
10	6	県営ほ場整備事業 「早日渡地区」	北方町	北方町教育委員会	事業確認について
10	15	広域農道西臼杵2期	高千穂町	西臼杵支庁	試掘調査について
10	19	一般国道10号延岡道路建設	延岡市	建設省延岡工事事務所	次年度以降の調査予定地の試掘調査について
10	28	上村地区急傾斜対策事業	高千穂町	西臼杵支庁	県指定上村古墳の所在の確認について
10	29	一般国道10号道路改良事業	日向市	建設省延岡工事事務所	日向市美々津・百町原の付加車線工事について
11	2	県営ほ場整備事業 「上村地区」	東郷町	東郷町教育委員会 東臼杵農林振興局	発掘調査時期と範囲について
11	10	県営ほ場整備事業 「早日渡地区」	北方町	北方町教育委員会	調査状況確認

(県北)

月	日	事業名	事業地	調整先	内 容
12	3	一般国道10号延岡道路建設	延岡市	建設省延岡工事事務所	林遺跡の今年度事業の確認
12	10	松山地区急傾斜対策事業	延岡市	延岡市教育委員会	事業対象地の現況について
12	21	松山地区急傾斜対策事業	延岡市	延岡市教育委員会 延岡土木事務所	現地状況確認及び工法について
1	4	東九州自動車道建設	宮崎市～ 西都市	日本道路公団 宮崎工事事務所	10年度事業の見直しについて

(県央)

月	日	事業名	事業地	調整先	内 容
4	6	ふるさと農道緊急整備事業 「切原地区」	木城町 川南町	児湯農林振興局	周知の埋蔵文化財包蔵地内を通る予定の道路建設について
4	8	国営水利事業尾鈴地区 銀座2号ファームポンド建設	川南町	九州農政局 宮崎農業水利事務所 尾鈴農業水利事業建設所	事務引継 黒岩遺跡発掘調査の時期について
4	8	県道都農西都線道路改良事業	西都市	西都土木事務所	今年度事業計画について
4	10	県営ほ場整備事業 「船引地区」	清武町	清武町教育委員会 中部農林振興局 船引地区土地改良区	今年度事業計画について
4	17	倉岡ニュータウン建設	宮崎市	住宅供給公社 日本道路公団宮崎	今年度事業計画について
4	20	希望ヶ丘西土地区画整理事業	宮崎市	宮崎市	今年度事業計画について
4	23	県営ほ場整備事業 「鹿村野地区」・「元野地区」 ふるさと農道緊急整備事業 「鹿村野地区」	田野町	田野教育委員会 中部農林振興局	今年度事業計画及び埋蔵文化財所在地の取扱いについて
5	7	県営ほ場整備事業 「鹿村野地区」	田野町	田野教育委員会 中部農林振興局	今年度事業計画及び埋蔵文化財所在地の取扱いについて
5	8	希望ヶ丘西土地区画整理事業	宮崎市	住宅供給公社	試掘調査について
5	13	鬼付女川河川改修事業	新富町	高鍋土木事務所	今年度事業計画について
6	2	希望ヶ丘西土地区画整理事業	宮崎市	住宅供給公社	発掘調査について
6	22	国道10号安全付加道路建設	川南町	建設省宮崎工事事務所	試掘調査について

6	25	国営水利事業尾鈴地区 銀座2号ファームボンド建設	川南町	九州農政局 宮崎農業水利事務所 尾鈴農業水利事業建設所	発掘調査時期について
6	26	総合農業試験場整備事業	佐土原町	農政企画課	今年度事業計画及び埋蔵文化財所在地の取扱いについて
6	29	県営ほ場整備事業 「船引地区」	清武町	清武町教育委員会 中部農林振興局 船引地区土地改良区	平成11年度事業について
6	30	宮崎大学農学部温室建設	清武町	宮崎大学	報告書作成について
7	1	県道宮崎島之内線	宮崎市	宮崎土木事務所	事業計画について
7	17	県営ほ場整備事業 「鹿村野地区」・「元野地区」	田野町	田野町教育委員会	発掘調査について
7	21	県道都農西都線道路改良事業	西都市	西都土木事務所	発掘調査について
7	28	東九州高速道路建設	都農町～ 西都市	高速道対策局	地方協力について
7	29	県営排水・農道整備事業 「祇園原地区」	新富町	新富町教育委員会 児湯農林振興局	今年度事業計画及び埋蔵文化財所在地の取扱いについて
7	31	倉岡ニュータウン建設	宮崎市	住宅供給公社	今年度事業計画及び試掘調査について
8	5	東九州高速道路建設	都農町～ 西都市	高速道対策局	地方協力について
8	11	国道219号春田バイパス建設	佐土原町	宮崎土木事務所	発掘調査について
8	18	国道219号春田バイパス建設	佐土原町	宮崎土木事務所	発掘調査について
9	2	県道都農西都線道路改良事業	西都市	西都土木事務所	発掘調査について
9	9	東九州高速道路建設	都農町～ 西都市	高速道対策局	地方協力について
9	11	西都簡易裁判所庁舎新築	西都市	西都簡易裁判所	試掘調査について
9	17	東九州高速道路建設	都農町～ 西都市	高速道対策局	地方協力について
9	18	東九州高速道路建設	都農町～ 西都市	高速道対策局	地方協力について
9	18	—	田野町	田野町教育委員会	民間調査機関導入について
9	18	—	清武町	清武町教育委員会	民間調査機関導入について

9	29	東九州高速道路建設	都農町～西都市	高速道対策局	地方協力について
10	5	ふるさと農道緊急整備事業 「切原地区」	木城町 川南町	児湯農林振興局	今年度事業計画及び埋蔵文化財所在地の取扱いについて
10	13	国営水利事業尾鈴地区 銀座2号ファームボンド建設	川南町	九州農政局 宮崎農業水利事務所 尾鈴農業水利事業建設所	事業計画及び発掘調査経費の負担率について
10	19	大淀川右岸農業水利事業 大淀川左岸農業水利事業	宮崎市～田野町	九州農政局 宮崎農業水利事務所	平成11年度事業計画について
10	20	国営水利事業尾鈴地区 銀座2号ファームボンド建設	川南町	九州農政局 宮崎農業水利事務所 尾鈴農業水利事業建設所	発掘調査経費の負担率について
10	30	国道219号春田バイパス建設	佐土原町	宮崎土木事務所	発掘調査について
11	2	大淀川左岸農業水利事業	高岡町	九州農政局 宮崎農業水利事務所 高岡支所	試掘調査について
11	2	県道木城西都線道路改良事業	新富町	高鍋土木事務所	事業の進捗状況と試掘調査について
11	5	東九州高速道路建設	都農町～西都市	高速道対策局	地方協力について
11	9	国営水利事業尾鈴地区 銀座2号ファームボンド建設	川南町	九州農政局 宮崎農業水利事務所 尾鈴農業水利事業建設所	発掘調査経費の負担率について
11	18	国道10号安全付加道路建設	都農町	建設省宮崎工事事務所	試掘調査について
11	20	総合農業試験場整備事業	佐土原町	農政企画課	試掘調査について
11	24	県道川床日向新富停車場線 県道木城西都線道路改良事業	新富町	高鍋土木事務所	事業計画及び進捗状況と試掘調査について
11	24	ふるさと農道緊急整備事業 「切原地区」	木城町 川南町	児湯農林振興局	埋蔵文化財の保護と事業計画のすり合わせ
11	25	国道219号春田バイパス建設	佐土原町	宮崎土木事務所	工事と発掘調査の行程のすり合わせについて
12	1	県道古墳山路線道路改良事業	西都市	西都土木事務所	工事計画の確認と立会について
12	3	県営ほ場整備事業「飯田地区」 農免農道「内山地区」「楠見2期地区」	高岡町	高岡町教育委員会 中部農林振興局	平成11年度事業計画と埋蔵文化財の取り扱いについて

(県央)

12	7	西都簡易裁判所庁舎新築	西都市	宮崎地方裁判所	事業概要について
12	8	西都簡易裁判所庁舎新築	西都市	宮崎地方裁判所	工事概要と埋蔵文化財の取り扱いについて
12	14	倉岡ニュータウン建設	宮崎市	住宅供給公社	レーダー探査について
12	18	国営水利事業尾鈴地区 銀座2号ファームボンド建設	川南町	九州農政局 宮崎農業水利事務所 尾鈴農業水利事業建設所	事業の進捗状況及び発掘調査について
12	22	宮崎管区気象台移転	宮崎市	建設省九州建設局 福岡管区気象台 宮崎管区気象台	事業概要と埋蔵文化財の取り扱いについて
1	5	県立高等技術専門校	西都市	労政能力開発課	事業計画と埋蔵文化財の取り扱いについて
1	6	西都簡易裁判所庁舎新築	西都市	建設省九州建設局 宮崎地方裁判所	計画概要及び発掘調査時期について
1	8	県道木城西都線道路改良事業	新富町	高鍋土木事務所	試掘調査について
1	12	ふるさと農道緊急整備事業 「切原地区」	木城町 川南町	児湯農林振興局	埋蔵文化財の保護と事業計画のすり合わせ
1	14	大淀川左岸農業水利事業	高岡町	九州農政局 宮崎農業水利事務所	事業概要について
1	18	県道宮崎南俣線新設事業	宮崎市	宮崎土木事務所	事業概要及び埋蔵文化財の取り扱いについて
1	21	倉岡ニュータウン建設	宮崎市	住宅供給公社 日本道路公団宮崎	レーダー探査について
1	21	県営ほ場整備事業 「鹿村野地区」・「元野地区」 「七野八重」	田野町	田野町教育委員会 中部農林振興局	事業概要及び埋蔵文化財の取り扱いについて
1	22	県道宮崎南俣線新設事業	宮崎市	宮崎土木事務所	事業概要及び埋蔵文化財の取り扱いについて

月	日	事 業 名	事 業 地	調 整 先	内 容
4	16	高城変電所建設	高城町	(株)九州電力	本年度調査について
4	22	農用地総合整備事業	都城市	農用地整備公団	本年度調査について
5	6	県道		串間土木事務所	試掘調査について
5	11	県営ほ場整備事業 「東川北地区」	えびの市	えびの市耕地課	事業計画について
6	11	王子原ファームボンド 建設	高原町	農林水産省 都城農業水利事務所	本年度調査について
7	27	県営ほ場整備事業 「横市地区」	都城市	西諸県農林振興局 都城市教育委員会	本年度調査について
8	3	農用地総合整備事業	都城市	農用地整備公団	5工区の発掘調査について
8	20	木材加工研究センター建設	都城市	木材振興課	発掘調査について
8	26	宮崎地方裁判所 都城支部庁舎建設	都城市	宮崎地方裁判所	試掘調査箇所選定について
8	26	農用地総合整備事業	都城市	農用地整備公団	本年度事業について
10	20	農用地総合整備事業	都城市	農用地整備公団	本年度事業について
12	4	農用地総合整備事業	都城市	農用地整備公団	本年度事業について
12	17	県営ほ場整備「東川北地区」	えびの市	えびの市耕地課 えびの市教育委員会	試掘箇所選定について
12	18	中山間地域農村活性化総合整 備事業	北郷町	南那珂農林振興局 北郷町教育委員会	試掘箇所選定について
1	21	農用地総合整備事業	都城市	農用地整備公団	2工区の発掘調査について

第4節 奈良国立文化財研究所研修参加一覧

開始 月 日	終了 月 日	課程名	参加者	所屬	研修概要
5/12	6/11	一般課程	横川 美佐	日向市教育委員会	講義、実習
6/17	6/25	埋蔵文化財基礎課程	竹野 隆司	宮崎市教育委員会	講義・現地・施設見学
10/1	10/15	測量外注管理課程	甲斐 貴充	宮崎県教育委員会	講義、実習
11/17	12/11	遺跡保存整備課程	柴畠 光博	都城市教育委員会	講義、実習
2/23	3/3	水田遺跡調査課程	尾方 農一	延岡市教育委員会	講義、実習

第5節 文化庁担当者職員等講習会参加一覧

開始 月 日	終了 月 日	研修会名	参加者	所屬	備考
9/3	9/4	埋蔵文化財 担当職員等講習会	重山 郁子	宮崎県教育委員会	於：九州大学工学部
9/3	9/4	埋蔵文化財 担当職員等講習会	宇田川美和	宮崎市教育委員会	於：九州大学工学部
9/3	9/4	埋蔵文化財 担当職員等講習会	柴畠 光博	都城市教育委員会	於：九州大学工学部
9/3	9/4	埋蔵文化財 担当職員等講習会	伊東 但	清武町教育委員会	於：九州大学工学部
9/3	9/4	埋蔵文化財 担当職員等講習会	森田 浩史	田野町教育委員会	於：九州大学工学部

第6節 埋蔵文化財保護行政担当者会一覧

月 日	研修会等名	参加者名	内 容
4. 9	第1回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	平成10年度事業について
5. 14	第2回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	事業内容調整、出土品の取り扱いほか
5. 15	文化・文化財保護行政主管課長会	県内市町村主管課長	文化課・文化振興課各係の事業説明 県施設の事業説明ほか
5. 15	文化財保護行政担当者会	県内市町村担当者	補助金・届関係説明 出土品の取り扱いほか
5. 19	開発事業と埋蔵文化財発掘調査の調整	各開発部局担当者	開発事業と発掘調査との事務処理の流れの説明ほか
6. 12	第3回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	調査体制について、出土品の取り扱いほか
7. 10	第4回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	調査体制について、出土品の取り扱い 開発事業調整ほか
7. 30	埋蔵文化財担当者会	県内市町村担当者	民間調査機関導入について、ほか
8. 7	第4回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	民間調査機関導入について、出土品の取り扱い、開発事業調整ほか
9. 14	第5回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	民間調査機関の活用、ほか
9. 30	埋蔵文化財担当者会	県央部市町村担当者	調査体制について、民間調査機関導入について、出土品取り扱いほか
10. 1	埋蔵文化財担当者会	県南部市町村担当者	調査体制について、民間調査機関導入について、出土品取り扱いほか
10. 2	埋蔵文化財担当者会	県北部市町村担当者	調査体制について、民間調査機関導入について、
10. 9	第6回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	事業内容調整、出土品の取り扱いほか
11. 5	東九州自動車道関係会議	関係町担当者	東九州自動車道建設に伴う地方協力について
11. 13	第7回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	事業内容調整、出土品の取り扱いほか
11. 18	農政担当者調整会	文化課、農政事業担当者	開発事業と発掘調査との事務処理の流れの説明、民間調査機関の活用ほか
12. 11	第8回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	事業内容調整、出土品取り扱いほか
12. 14	第9回埋蔵文化財連絡調整会	文化課、職業センター	事業内容調整ほか

宮崎県文化財調査報告書

第43集

発行年 平成11年3月

発行 宮崎県教育委員会

〒880-8502
宮崎市橋通東1丁目9-10

編集 宮崎県教育庁文化課

